

電磁過敏症

電磁過敏症 (EHS) の症状が低レベルの電磁界へのばく露によって起きることは、科学的証拠として認められていません

電磁過敏症とは何か？

一部の人は、電磁界 (EMF) への低レベルばく露が原因で生じるとご自身は思っている、広範な非特異的健康問題を報告しています。最も一般的に報告される症状には、頭痛、体の痛み、無気力、耳鳴り（耳の中で音が鳴り響くこと）、吐き気、灼熱感、心臓の不整脈および不安感などがあります。これら症状の集まりは、医学的に確認されたどの症候群の一部でもありません。

このような推量による EMF への感受性は、「電磁過敏症」または EHS と呼ばれ、医学文献でも、**電磁界を原因と思う環境不耐症 (IEI-EMF)** として知られています。

EHS 関連症状は低レベル EMF へのばく露によって引き起こされるか？

症状は現実にあるもので、影響が表れている人にとっては障害となる影響となり得ますが、その一方、EHS には明確な診断基準がなく、EMF ばく露が原因であることを示す証拠をこれまでに科学は提供したことがありません。

現在までに公表された科学研究の大部分が、制御された実験室条件下において、EHS 者群が非 EHS 者群に比べていくらかでも正確に EMF 発生源の存在を感じとることはできないことを確認しました。いくつかの研究は、ノセボ効果、すなわち、あるものを有害だと信じることで生じる悪い効果、を示唆しています。

役に立つリンク

- ・ 世界保健機関 (WHO) ファクトシート：電磁過敏症
<http://www.who.int/peh-emf/publications/facts/fs296/en/>
- ・ EMERG に関する情報
<http://www.arpansa.gov.au/AboutUs/collaboration/emerg.cfm>

EMF とは無関係の環境要因がこれらの症状の原因であるかも知れないと示唆されています。例えば、劣悪な屋内空気質、過剰な騒音、蛍光灯のちらつき、視覚的表示装置 (VDUs) からのまぶしい光などです。

ARPANSA はどのような助言をしているか？

現在の科学的知識を根拠とすれば、ばく露ガイドラインを下回るレベルの EMF が原因で EHS が起きることについての確定した証拠はありません。ARPANSA は、影響の表れている人々が体験している健康上の症状が現実のものであること、そしてそれが障害問題になり得ることを認めます。その上で、影響の表れている人々には、資格のある医学専門家からの医学的助言を求めることを助言します。

ARPANSA は、EHS 団体、この分野の研究者および医学専門家との連携を積極的に維持しています。また、電磁エネルギー検討グループ

(Electromagnetic Energy Reference Group (EMERG)) を設立しました。そのグループには、EHS 団体代表者、オーストラリア政府の医務部長、さまざまな学術および政府機関、およびその他のステークホルダが入っています。

ARPANSA は、正確で最新の助言を提供するために、EMF ばく露で生じるかも知れない健康影響を探求した研究のレビューを継続する予定です。